

令和5年7月12日

《一般国道397号の整備促進に係る》

# 要 望 書



【冬期間閉鎖となる岩手県・秋田県境（岩手県側の春の除雪状況）】

国道397号整備促進期成同盟会  
会長 岩手県奥州市長 倉成 淳



## 決 議

東日本大震災以降、道路が災害時の救援、あるいは医療施設へのアクセスとして、住民の命に直結するものであるという認識が高まり、道路の果たすべき役割として「命を守る」ということを意識したところである。

岩手県における被災地復興のための高規格道路が令和3年12月18日に全線開通したところであるが、その一方で近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化している気象災害や大規模地震などの発生によって交通の分断が懸念される地域がまだ多く存在している。

災害に強い安全な地域づくりのためには、高規格道路はもとより、それを補完する一般道路の整備も同時に行うことが重要である。

国道397号は、秋田県内陸部と岩手県沿岸部を結ぶ地域の交流と振興に大きな役割を果たしている重要な路線である。昨年11月には、隣接する胆沢ダム直下の奥州いさわカヌー競技場がJOC強化センターに認定されたことをきっかけに、今後ますますスポーツを通じた交流の拡大が期待されている。また、災害時には緊急輸送や高次救急医療機関への確実な搬送の確保など「命を守る道路」として極めて重要な道路である。道路の繋がりは命の繋がりでもあり、冬期間通行止めとなる本路線のゴールデンウィーク前の早期解除など通行止め期間の短縮と共に、早期の通年通行の実現に地域住民の期待が高まっている。

ついては、地方の道路整備の現状並びに果たすべき役割の重要性を認識し、地域住民の生活、経済活動を支える道路の計画的整備を図るべく、次の事項について強く要望する。

- 1 公共事業関係費の大幅な増額を図り、平成21年度以前の7～8兆円規模に回復させ、国土の安全・安心を守るため「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、国土強靱化に必要な予算、財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
- 2 道路整備に当たっては、費用対効果に偏重することなく、災害時における緊急輸送や救急病院へ確実な搬送の確保など「命を守る道路」として、地域の実情と多面的な効果を十分考慮した上で総合的に判断の上、必要な予算を確保すること。
- 3 地域経済の活性化を図るため「重要物流道路」に指定されたネットワークを中心に、機能強化や事業による重点整備支援、並びに修繕・冬期間の交通確保対策の充実を図ること。
- 4 冬期間通行止めとなる奥州市胆沢地内から東成瀬村区間について、ゴールデンウィーク前の早期解除など通行止め期間の短縮、早期の通年通行確保のための調査・検討及び整備促進を図ること。奥州市胆沢地内の歩道整備及び拡幅の早期事業化を実現すること。住田町子飼沢トンネルから栗木トンネル区間の線形改良を図ること。

以上、決議する。

令和5年6月30日

国道397号整備促進期成同盟会・令和5年度総会

## 国道 397 号の整備促進について

国道397号につきましては、関係機関の御配慮により、整備促進が図られておりますことに厚くお礼申し上げます。

本路線は、岩手県沿岸南部や秋田県東南部から東北自動車道水沢インターチェンジ、奥州スマートインターチェンジ及び東北新幹線水沢江刺駅等の公共交通拠点へのアクセス道としての役割や、岩手中部金ヶ崎工業団地、江刺中核工業団地と重要港湾大船渡港を結ぶ産業道路としての機能をもつなど、古くから産業、経済、文化等の交流で重要な役割を果たしてきた歴史があります。

平成28年に、隣接する胆沢ダム直下に奥州いさわかヌー競技場が整備され、毎年のようにカヌー競技の主要大会が開催されているほか、ラフティング、サップなどのウォーターアクティビティを体験しに、県内外から多くの人々が訪れております。また、東日本大震災においては、救急活動や救援物資輸送道路として重要な役割を果たし、岩手県では復興支援道路として指定されている路線でもあります。

しかしながら本路線は、岩手県奥州市胆沢<sup>いさわ</sup>地内から秋田県東成瀬村間が11月から翌年5月まで約半年にわたり冬期通行止めとなり、この間、県境越えのルートがなくなることにより経済交流が阻まれ、雪国の生活の安定と地域の振興に障害となっております。

災害時における緊急輸送や高次救急医療機関への確実な搬送の確保など「国民の命と生活を守る道路」として極めて重要な道路であります。

つきましては、円滑で安全な交通確保のため国道397号が抱える諸課題を御賢察のうえ、その解消及び緩和を図るため次の事項につきまして特段の御高配を賜りたく要望いたします。

## 記

- 1 奥羽山系を横断する奥州市胆沢<sup>いさわ</sup>地内から東成瀬村間の冬期間における通年通行確保のための整備及び具体的手法の調査・検討
- 2 冬期通行止め区間のゴールデンウィーク前の早期解除
- 3 奥州市胆沢<sup>いさわ</sup>愛宕<sup>あたご</sup>以西の歩道整備
- 4 奥州市胆沢<sup>いさわ</sup>南都田<sup>なつた</sup>字清水<sup>しみず</sup>下から上代<sup>うわだい</sup>区間の両側歩道整備
- 5 奥州市胆沢<sup>いさわ</sup>南都田<sup>なつた</sup>字本木<sup>もとぎ</sup>地内の歩道拡幅
- 6 住田町<sup>せたまい</sup>世田米<sup>こがいざわ</sup>地内子飼沢<sup>こが</sup>トンネルから栗木<sup>くりき</sup>トンネル間の線形改良



【子飼沢トンネルから東のカーブが続く狭隘区間】



東成瀬村  
奥州市

1



奥州市胆沢地内から東成瀬村間の冬期間における通年通行確保のための整備及び具体的手法の調査・検討

東成瀬村  
奥州市

2



冬期通行止め区間のゴールデンウィーク前の早期解除

住田町

6



住田町世田米地内子飼沢トンネルから栗木トンネル間の線形改良

秋田自動車道

至 盛岡市

456

107

N  
4  
+

横手市

秋田県

岩手県

至 湯沢市

東成瀬村

1

2

△焼石岳

397

奥州市

3

4

5

奥州市

397

住田町

住田町

至 大船渡市

湯沢市

342

胆沢ダム

栗駒焼石ほっとライン

東北新幹線

343

東北自動車道

東北

奥州市

陸前高田市

343

奥州市

3



胆沢愛宕以西の歩道整備

△栗駒

奥州市

4



胆沢南都田字清水下から上代区間の両側歩道整備

奥州市

5



胆沢南都田字本木地内の歩道拡幅

国道397号  
要望箇所



# 国道397号整備促進期成同盟会 役員・委員名簿

(令和5年7月12日現在)

会 長	岩手県	奥州市長	倉 成	淳
副会長	秋田県	横手市長	高 橋	大
副会長	岩手県	大船渡市長	浏 上	清
監 事	秋田県	東成瀬村長	備 前	博 和
監 事	岩手県	住田町長	神 田	謙 一
委 員	秋田県	横手市議会議員	寿松木	孝
委 員	秋田県	横手市議会議員	菅 原	正 志
委 員	秋田県	東成瀬村議会議員	佐々木	修
委 員	秋田県	東成瀬村議会議員	高 橋	健
委 員	秋田県	湯沢市長	佐 藤	一 夫
委 員	秋田県	湯沢市議会議員	渡 部	正 明
委 員	秋田県	湯沢市議会議員	石 川	隆 一
委 員	秋田県	羽後町長	安 藤	豊
委 員	秋田県	羽後町議会議員	阿 部	養 助
委 員	秋田県	羽後町議会議員	石 垣	俊 次
委 員	岩手県	奥州市議会議員	菅 原	由 和
委 員	岩手県	奥州市議会議員	及 川	佐
委 員	岩手県	住田町議会議員	瀧 本	正 徳
委 員	岩手県	住田町議会議員	阿 部	祐 一
委 員	岩手県	大船渡市議会議員	三 浦	隆
委 員	岩手県	大船渡市議会議員	森	亨
委 員	岩手県	陸前高田市長	佐々木	拓
委 員	岩手県	陸前高田市議会議員	福 田	利 喜
委 員	岩手県	陸前高田市議会議員	大和田	加代子